

単元名 「自分と比べて読み、登場人物に手紙を書こう」 (第2学年 C 読むこと)

■ 本事例のポイント

1. 手紙を書くために明らかにしたい問いを設定し、解決する時間をとることで、主体的な学びの実現を目指した。
2. 解決する問いや学び方を自己選択させることで、学習調整を促し、試行錯誤しながら表現できるようにした。

■ 単元の目標

- (1) 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。〔知識及び技能〕(1)オ
- (2) 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ
- (3) 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)オ
- (4) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」

■ 単元の指導計画 (12時間)

第1次 (3時間)

「単元の見通しをもつ」

- ・物語の内容の大体を捉える。
- ・単元で考えたい問いを決める。

第2次 (8時間)

「問いを解決し、感じたことを手紙に書く」

- ・「お話を読めば分かる問い」を解決する。
- ・「お話をもとに想像する問い」を解決する。
- ・登場人物に手紙を書く。

第3次 (1時間)

「単元を振り返る」

- ・友達と手紙を読み合う。
- ・感想を書く。

■ 本時の概要

めあて「登場人物の気持ちを考えて、伝え合おう。」

問い「来るとわかっていたお手紙を二人が待っていたのはどうしてか。」

① 問いに対する自分の考えをワークシートに書く。

② 「一人で、友達と、先生と」誰と解決するか、1人1台端末の一覧表から選ぶ。

③ 友達の考えを聞く。

①～③を繰り返す

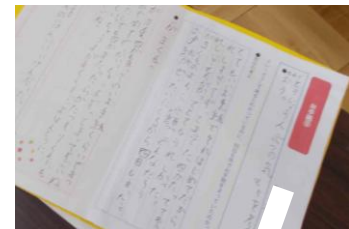


ゴールに向かって自分で学び方を選び、それを友達同士で共有できるようにしています。



④ 考えたことを手紙形式でまとめる。

⑤ 自分の学び方や考えの変容を振り返る。




■ 学習調整をしている子供の姿

●自分の考え

とい...どうして来るとわかって

かえるくんは、がまくんの喜ぶ顔が見たくて待っていたんじゃないかな。

〇〇さんが「友達と」を選んだから、考えを聞いてみよう。



学び方	読めば分かる	とい①	とい②	とい③
子どもたちと				
子どもたちと				
先生と				
子どもたちと				
先生と				
子どもたちと				



〇〇さんは、「親友のかえるくんがいなかったらあきていた。」と考えたんだね。その考え方もいいな。付け足そうかな。



かえるくんとがまくんは親友だから、喜ぶ顔が見たくてお手紙を楽しみに待っていたんだね。かえるくんにお手紙を書こう。



■ 指導と評価の工夫

① 児童が考えた問いを「お話を読めば分かる問い」「お話をもとに想像する問い」に分類

- * 「お話を読めば分かる問い」・・・自力解決を通して、出来事や登場人物の様子を確認できる。
- * 「お話をもとに想像する問い」・・・問いを精選することで、友達の考えを聞きたくなる環境を作ることができる。

② 学び方を電子黒板で共有

- * 自分の学び方を自由に選択できる。
- * 自分のタイミングで友達と考えを共有できる。
- * 悩んでいる児童を教師が把握できる。



③ 自分の学び方を振り返る

- * 友達と考えを伝え合い、自分の考えと比べることのよさを自覚できる。
- * 児童の考えの変容を教師が把握できる。

■ 成果（○）と課題（▲）

- 児童の考えた問いを解決する単元計画によって、単元を通して児童が見通しをもって、最後まで意欲的に学習できた。
- 学び方を自己選択することで、友達と一緒に学ぶよさを児童が自覚することができた。
- ▲ 考えを交流する際、考えを伝えて終わる児童もいた。反応や付け足しなど、話合いの仕方をもう一度確認することで、より深い学びにつながると考えられる。